

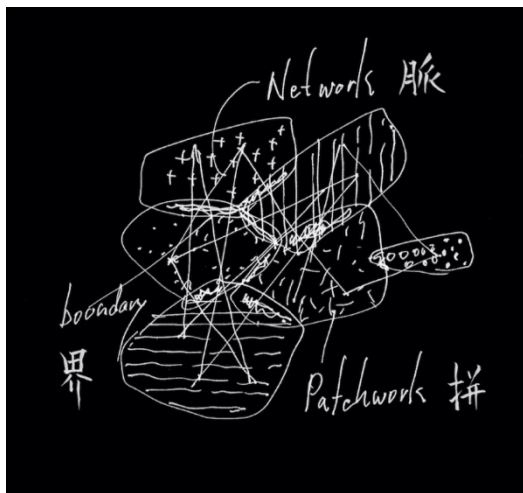
プレスリリース
報道関係各位

2020 年 6 月
一般財団法人 セゾン現代美術館

都市は自然展 CITY is NATURE

2020 年 7 月 26 日（日）－11 月 23 日（月・祝）

セゾン現代美術館（長野県・軽井沢町）では、2020 年 7 月 26 日（日）から 11 月 23 日（月・祝）まで、「都市は自然」展を開催します。本展覧はゲスト・キュレーターに團紀彦を迎え、大久保 英治、磯村 暖、太田 泰友が出展します。



團紀彦《共生のスケッチ》2015 年



大久保 英治《森と物の時間物語》2019 年

* 本展のために制作された美術館庭園のインスタレーション

「共生」という言葉が広くに知られるようになったのは、1970 年代より「共生の思想」を提唱してきた建築家・黒川紀章によるところが大きいといえるでしょう。黒川と共に日本発の建築運動「メタボリズム」に参加した建築家・槇文彦に薫陶を受け、現在国内外のプロジェクトで活躍する建築家・團紀彦が、本展の展示構成を手掛けています。2020 年より軽井沢町の都市と自然環境に対する提言を行うマスターアーキテクトに就任された團の建築は、その特徴として「自然との共生」を挙げることができます。

本展では、團の「共生」に関連した作品や画像資料に加え、複数のプロジェクトで團と共同制作をしてきた美術家・大久保英治の新作インスタレーションを展示いたします。

さらに「共生的社会」と題したセクションでは、当館館長の堤たか雄がキュレーションを担当し、ブックアーティストの太田泰友、独自の視点で社会問題に向き合う磯村暖の近作をご紹介します。今まさに、私たちの生活が変わろうとしているなかで、日本の自然観、都市観に基づいた、團紀彦の解釈による「共生」の展観を試みます。

團は本展に寄せて「新型コロナウイルスは建築空間と多数の人間に深く関わり合っている都市的でグローバルなウィルスだと言える。特定の地域に限定される風土病と違い、あっという間に地球全体を駆け巡る。(中略)人間は魚に例えると回遊魚的でもあり根魚的でもある。今はこの回遊魚の自由は奪われて、根魚的な生き方の中で何とか生き延びなければならない。(中略)それぞれの文化的な固有性を出発点とし、その葛藤の中から生まれた根魚の論理としての共生の思想だけが未来への希望の光となることを信じている。ペストは近代を生む陣痛だったと言われたように、コロナ禍もまた次の新しい共生の時代を生むための苦しみであると思う。」と述べています。

< 展覧会概要 >

会 場：セゾン現代美術館（長野県北佐久郡軽井沢町長倉芹ヶ沢 2140 TEL:0267-46-2020）

会 期：2020 年 7 月 26 日*（日）－11 月 23 日（月・祝）

開館時間：10:00-18:00（11 月は-17:00）最終入館は閉館 30 分前

休 館 日：木曜日（8 月は無休）

入 館 料：一般 1500 円、大高生 1000 円、中小生 500 円

主 催：一般財団法人セゾン現代美術館

ゲスト・キュレーター：團紀彦（建築家、青山学院大学教授）

協 力：團紀彦建築設計事務所

セゾン現代美術館では、新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止を目的とし、国及び自治体より示される指針に基づき、下記の対応を実施いたします。

【予防の取り組み】

- ・ 館内にアルコール消毒液を設置いたします。
- ・ 受付に飛沫感染防止の設備を設置いたします。
- ・ スタッフ、警備員はマスクを着用し、業務に当たります。
- ・ ドアノブ、手すりなど、特に多くの方が触れる場所については、定期的に消毒致します。
- ・ 混雑回避の為、各種イベント等の中止、入館制限、展示室やショップスペースの滞留人数の調整等を行う場合がございます。状況に応じ予告なく実施させて頂く場合がございます。
- ・ スタッフは毎日検温を実施し、健康状態を把握いたします。

* 今後も新型コロナウイルスの感染拡大状況などを踏まえ、展覧会会期の変更等が生じることがございます。最新の情報はホームページにてご確認ください。

< 関連企画のご案内 >

○ブックアーティスト 太田泰友ワークショップ「セゾン現代美術館でしか作れない本」

日時：2020年8月1日(土)13:00 – 16:00

定員：5組（親子2名様1組）参加費：1組／1000円 * 予約制

初心者にもできる簡単な綴じ方を用いて、本を作ります。セゾン現代美術館ならではの素材探しをして、綴じ込み、ブックアートの第一歩となるオリジナル作品を仕上げます。ワークショップの最後には、完成した作品を並べて写真撮影も行います。

○ブックアーティスト 太田泰友ワークショップ「本の境界線 at セゾン現代美術館」

日時：2020年8月29日(土)13:00 – 16:00

対象：大人 定員:最大10名 参加費:1000円 * 予約制

どういう状態のものを〈本〉と認識するのでしょうか。木材に色を塗るなど様々な加工を加えて、〈本〉らしく見える瞬間を探ります。完成したオブジェを、参加者それぞれが屋外の好きな場所に設置して撮影し、最後に完成品について発表します。

■関連企画ご予約方法

FAX : 0267-46-2021 または e-mail : karuizawa@smma.or.jp にて、下記項目をお知らせください。

1. 参加希望イベント 2. お名前 3. 人数 4. ご連絡先（お電話番号/ E-mail アドレス）

< ゲスト・キュレーター >

團紀彦/ Norihiko Dan（建築家、都市計画家、青山学院大学総合文化政策学部教授）

1956 年神奈川県生まれ。1979 年東京大学工学部建築学科卒業、同大学院で榎文彦に師事。

1984 年米国イエール大学建築学部大学院卒業。軽井沢町の環境保全のためのマスターアーキテクトに就任（2003-2006）。台湾南投県日月潭風景管理处と台北桃園国際空港第一ターミナルの設計で国際的に注目されるとともに日本橋室町東地区のマスターアーキテクトとして街路再生型都市計画を実践するなど環境及び歴史との共生型の建築及び都市計画で国内外から注目される。

團紀彦《共生のスケッチ》(p.1) について

共生の図は都市と自然の双方の葛藤を描いた図である。森羅万象には様々な要素がパッチワーク（拼）のように存在し、その境界線（界）には様々な反発や融合が絶えず繰り返されている。そしてそれぞれの要素はネットワーク（脈）によって関連づけられている。ミツバチが他の群落に花粉を運んだり、人々がインターネットで繋がりを求めたり、あるいはコロナウィルスが地球を駆け巡りグローバルな劇場をつくってしまうこともこの例である。

< 出品作家 >

大久保 英治／Eiji Okubo

1944 年兵庫県に生まれ、岡山県に育つ。1967 年日本体育大学卒業。1975 年京都教育大学養護教育課程専攻科修了。独学で美術を学び、1973 年に大阪で初個展を開催。1980 年イギリスに渡り、ランドアートに強い影響を受け、帰国後は日本文化の根底にある自然観をテーマ、森や谷、海岸を歩き、その場を感じながら自然の要素や素材をそのまま生かした制作活動を展開している。

《森と物の時間物語》(p.1)について

「森が古墳とするなら、この作品は玄室にあたるでしょう。その玄室が開かれて最初の光が差し込み、森の一部として時間が始まる。」(大久保 英治)



《日常の歩行（部分）》2019 年

磯村暖／Dan Isomura

1992 年東京生まれ。

2016 年東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業。2017 年ゲンロン カオス*ラウンジ 新芸術校第 2 期卒業(卒業時 金賞受賞)。

国内外での LGBTQ、移民、人権などの社会問題、歴史や宗教、フォークアートに関するリサーチに基づいたインスタレーションや絵画などの多岐に渡った制作活動をしている。



「Hell on Earth」展示風景 2016 年
撮影：松尾宇人（参考画像）

太田泰友／Yasutomo Ota

1988 年生まれ、山梨県出身。ブックアーティスト。OTA ブックアート代表。2017 年、ブルグ・ギービヒェンシュタイン芸術大学（ドイツ、ハレ）ザビーネ・ゴルデ教授のもと、日本人初のブックアートにおけるドイツの最高学位マイスターシューラー号を取得。これまでに、ドイツをはじめヨーロッパで作品の制作・発表を行い、ヨーロッパやアメリカを中心に多くの作品がパブリックコレクションとして収蔵されている。平成 28 年度ポーラ美術振興財団在外研修員。



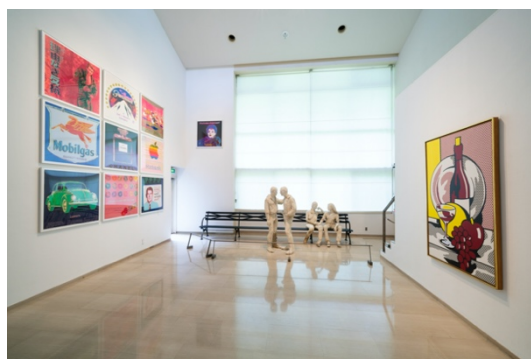
《Frucht I》2017 年

SEZON MUSEUM OF MODERN ART

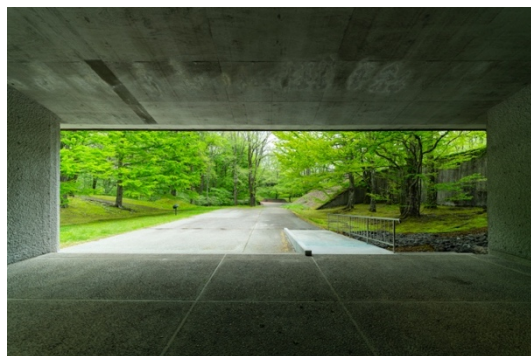
軽井沢の森の中、アートと呼吸する。— Art Breathing



1981年に堤清二（元当財団理事長）の意向により、同時代の様々な実験的創造の場となる「生きた美術館」として軽井沢の地に設立。当館の前身は、1962年に東京の高輪に開館した高輪美術館（堤康二郎の日本伝統美術の保存、公開）。1991年、美術館の活動方針の根拠となる「現代美術」を館名に表示し、現在は「自然と共生する美術館」をテーマとして活動する。



コレクションは約800点に及び、国内外の現代美術作家を系統的に収集し、毎年企画展と共にコレクション展を開催。パウル・クレイやワシリー・カンディンスキーなどの戦前のヨーロッパ美術、ジャクソン・ポロック、ジャスパー・ジョーンズ、アンディー・ウォーホルなどのアメリカ現代美術、荒川修作、中西夏之、横尾忠則などの日本現代美術がコレクションの軸となる。



エントランスから望む美術館庭園

彫刻家・若林奮の構想による庭園。野外彫刻を野外彫刻を四季折々の草花と共に巡る回遊式。



カフェ・ヤマアラシ テラス

地元産オーガニックの旬な素材を生かした料理、オリジナル焙煎コーヒーなど、好きな書籍と共に。

セゾン現代美術館 長野県北佐久郡軽井沢町長倉芹ヶ沢 2140. TEL: 0267-46-2020 www.smma.or.jp

＜プレスリリースお問い合わせ＞

セゾン現代美術館 東京事務所 TEL:03-5579-9725 Email: rieko@smma.or.jp （担当：坂本）